

第9回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会

開催日時	平成30年1月22日（月） 13:30～15:30	場 所	東海村役場 行政棟5階 災害対策本部室
出席者	委員／◎小原委員，○井坂委員，川亦委員，坪委員，安尾委員，川崎（敏）委員，宇野澤委員，藤田委員，鈴木（さ）委員，鈴木（千）委員，川崎（道）委員 事務局／村長公室 企画経営課 佐藤課長，高橋課長補佐，秋山係長，照沼主事，富永主事 建設農政部 都市整備課 橋本課長補佐，横山係長 欠 席／久賀委員，荒木田委員，原委員 (◎：委員長，○：副委員長)		

○当日の活動・協議内容

1 開会（企画経営課佐藤課長）

2 小原委員長あいさつ

大寒波が押し寄せる中，委員会に参加いただきありがとうございます。今回で第9回の会議と聞きますと，いつまで続くのだろうかと思われるかもしれませんが，本日示されるスケジュールの中では，3月までに中間報告を行い，次年度には計画を策定する予定ですので，もうしばしの間，ご協力いただきたいと思います。

平成30年3月の中間報告までには，全体のアイデアを膨らませることができるかと思えます。「できることから考える」ということで，半年ほど前となりますが，私から『保育所や幼稚園の子どもたちが村松地区に来て遊べる空間ができるの良いのでは』という提案をさせていただきました。今回のテーマは「国体を活用して」ということですが，こういったことは国体を待たずともできるかと思えます。また，荒っぽいアイデアかもしれませんが，例えば，「訪れた人が村松を楽しむことができる」という観点では，イモゾーに限らず，村松の（地区としての）ゆるキャラがいてもいいかもしれません。こういったことであれば，すぐにでもできるかと思えます。あるいは，「どうしたら，人が集うことができる空間にできるか」という観点から，みなさまが所属されている団体において，試験的取組みができるかもしれません。

茨城国体の開催が近づいているため，言葉として「国体」が委員会内でも頻出されるようになりました。明日，明後日，来月ぐらいからできることも含め，3月まで膨らませていただき，中間報告としてまとめた後，それを体系立てていきながら，全体像を再構築する作業へ入っていきますので，本日も，ご協力をよろしくお願いいたします。

3 議事

(1) 国体を活用した村松周辺エリアの活性化について

※企画経営課 照沼主事より，**会議の進め方について**，**資料1-1**及び**資料1-2**について説明（省略）

「国体のため（に何ができるか）」ということではなく，この委員会として「国体をどう捉えるか」が大切かと思う。例えば，スポーツと捉え，子ども達と国体選手の交流があってもいいかもしれない。あるいは，選手に東海村に良いイメージを抱かせる考えもあるかと思う。地理学の用語で“ジェントリフィケーション”という言葉があるが，空間の質を上げることによって，訪れるのみ

でなく、住むことに繋げる例もたくさんある。オリンピックを機に臨海部の整備を行い、富裕層が移り住み、まち全体の価値が上がるというような取組みは東京等で行われている。それをそのまま東海村で実現するのは難しいが、空間としての価値を上げていくことは非常に重要だ。軸に関して、JAEAとの協議は、ここで決定するものではなく、中長期の目標として掲げながら引き続き交渉を進める。その間、道に愛称をつけてみる等、みんなが愛着を持つことができるような取組みは可能だ。そういったところも本委員会の守備範囲だろう。(小原委員長)

- 軸について確認したい。今回、事務局から示されたのは、阿漕ヶ浦公園から村松海岸までの軸であったが、真崎地区や神楽沢近隣公園方面への展開もある。また、「東海村まるごと博物館」の中での位置付けもあるだろう。(坏委員)
- ➔ 今回は、村松周辺エリアの議論のため、エリア内の軸をお示しした。議論の中で、エリア外からのつながりを意識してお話いただいても問題ない。(照沼主事)

(議題) 国体を活用した村松周辺エリアの活性化について

Aグループ

※進行：橋本補佐

- (事前提出いただいた) 意見をまとめたものが資料1-2になる。駐車場といったハード面での大きな整備よりも、ソフト面での議論をいただきたい。この図に追加するご意見があれば伺いたい。(橋本補佐)
- ➔ ソフトというのは、体制づくりのようなものか。(坏委員)
- ➔ 活性化や機運醸成の方法についてご議論いただきたい。行政だと固くなりがちなので、「こういうやり方もあるよ」といったご意見があるといい。その中で、行政ができないことを民間に担ってもらえる部分もあると思う。例えば、大空マルシェも活性化を目的に実施しているものだろう。回りを巻き込み、協力体制を構築していくためにもご意見をいただきたい。(橋本補佐)
- ロコミで輪が広がっていくようなアイデアがあれば良い。また、来てもらうためには、どういった方法・どうおもてなしするかの話もあるだろう。人は呼んだが、地域の住民から「そんなことできないよ」と言われたら難しい。可能な範囲で、村松地区周辺をより活性化させるための方法についてご意見をいただきたい。(橋本補佐)
- ➔ 国体で阿漕ヶ浦公園に多くの人々が来たときに、村松周辺エリアにも来てもらうような工夫が必要だが、来てもらうだけではなく、そこからロコミで広がるような取組みを考える必要がある、という理解で良いか。(藤田委員)
- ➔ それも一つだ。国体時に、自分たちで物販コーナーを設置して地元のPRを行うことは可能だと思う。「ここで売っています」と情報発信することも含めて考えていただきたい。(橋本補佐)
- ➔ 案内板やマップのような、ここに行けば何があります・こういうものが買えます、といったことを写真等で惹きつけるものが必要だと思う。(藤田委員)
- ➔ 来村する応援団の支援や、応援する組織づくりについての問い合わせもあるだろう。そういった段階から、藤田委員が言ったようなPRもできるだろう。(坏委員)
- ➔ 国体で来た人が帰るまでに時間があつたとき、看板等があれば、そこへ寄ってみようと思えるかもしれない。そのためには、駐車場と会場の両方に案内板が必要だろう。そういったイメージを持っ

ていた。(藤田委員)

- ➔ 例えば、物販、体験、お参り等の取組みを村松周辺エリアで行うことによって人が来るのではないか。しかし、実施しているだけでは人が来ないので、案内板や紙媒体で配布できるものを作った方がいいのではないかと、といった展開をするイメージではないだろうか。(秋山係長)
- 駐車場として考えられている場所は、(資料1-2)の紫色と橙色のエリアだけだろうか。(坏委員)
- ➔ 国道 245 号の右側の朱色の部分については、事務局側の誤りだ。この部分、サッカー場のところは、JAEA関係の管理区域で入れない場所なので、考慮しないでいただきたい。(橋本補佐)
- ➔ 今考えられるのは、橙色と紫の範囲ということか。(坏委員)
- ➔ そうだ。また、阿漕ヶ浦公園周辺の駐車場として、脇の方に考えている場所はある。以前、(委員会で)説明している。(橋本補佐)
- 毎回、国体についての断片的な情報しかない。開催期間、一日の来場チーム数、チームの年齢層、男女数、1日の試合数、宿泊場所等についての情報が欲しい。(井坂副委員長)
- ➔ 阿漕ヶ浦公園の選手関係は一般になる。高校生は来ない。(橋本補佐)
- ➔ 控えの選手も含めて1チーム何名で来るのかといったことも意外と分からない。(井坂副委員長)
- ➔ 旅館業組合で把握していることとしては、JTBが一括して茨城県全体で宿の割り振りを行っているということだ。国体の開会式は笠松運動公園で開催するが、その後は分かれて入り乱れてしまう。東海村はホッケーだが、ひたちなか市は地区ごとに分かれている。(宇野澤委員)
- ➔ 1日の来場チーム数、開催期間中の来場チーム数や総試合数の情報も欲しい。滞在時間についての情報も必要だ。(井坂副委員長)
- ➔ 今年の9月に、プレ国体ということで、全日本社会人ホッケー大会が開催される。そこでは、約40チームが参加すると聞いている。(佐藤課長)
- ➔ ご祈祷のイベントを行ってはいかがか。各県のテレビ局が取り上げてくれるだろう。限られた時間で来てもらう場所は阿漕ヶ浦公園がメインになってくるが、それに歴史や科学をどう絡めていくかだ。祈祷するという事になれば、必ず、バスで来ることになるだろう。B1グランプリでは行われている。(小原委員長)
- ➔ その費用はどこが負担しているのか。(井坂副委員長)
- ➔ そこまでは分からない。全員集めて一回でご祈祷を行えば、東海村からのおもてなしになるかもしれない。せっかくの機会なので、何としても人を呼び込み、ここを目立たせる必要がある。(小原委員長)
- ➔ 屋外でレセプションを行うのも良いだろう。(井坂副委員長)
- ➔ レセプションも一案だろう。そのときに、ガイドを付けて、歴史や科学を紹介できれば良い。ご祈祷のような、核となるものがあれば、選手の家族たちも見に来るかもしれない。その人たちが、少し時間があるときにもう一度足を運ぶような誘導ができれば良いだろう。(小原委員長)
- ➔ せっかく厄除けも行っているのです、もう少しPRの仕方を考える必要がある。(別の市町村へ厄除けに行き)東海村から来たと言うと、「なぜ、有名な所があるのにここまで来るのか」と言われる。それだけ虚空蔵堂は有名だ。十三参り等もPRする必要があるだろう。それによって、様々な活性化につながり、参道についても、新しい意味(価値)が持てるようになってくる。(橋本補佐)
- 試合による出入りは激しいと思う。昭和49年茨城国体のときは、非常に盛り上がっていた。今回は、今一つ盛り上がり欠けているように感じる。(宇野澤委員)
- ➔ 各県の予算も厳しいだろうから、団体で来て、2日間で帰るような感じだろう。(坏委員)
- ➔ 試合が終われば帰ってしまう。試合や記録だけで帰り、選手は周遊等、遊ぶ感じではない。(宇野澤委員)

- 昭和 49 年の国体は非常に盛り上がっていて、茨城県全体で旅館ではみな統一のメニューを考えたということもあったが、今回はそれが無い。各々で実施してほしいとのことだ。(宇野澤委員)
- 統一メニューについて、東海村の中だけで取り組む予定はないのか。(鈴木さ委員)
- 今のところはない。昔は旅館のみだったが、最近はビジネスもあり、食事等の業態が異なる。非常に多様性があり、統一できない事情もある。(宇野澤委員)
- 国体期間中だけでも、皆さんでまとまって村のものを出していこうという雰囲気を作らないといけない。(橋本補佐)
- この計画は、短期計画、中・長期計画になる。国体期間は5日程度かもしれないが、それで終わりではなく、組織や看板等が財産としてずっと残っていくので、そちらが宝物だと思う。(坪委員)
- 前回の国体のときは、皆さん非常に力を入れていたので良いイメージがあったらしいが、今回は地区ごとにバラバラになってしまったので、それを何とかした方がいいのかなとは思っている。県全体としても、観光のイメージを向上しないと厳しいだろう。連携ができていないということが茨城県県の弱みだろう。(宇野澤委員)
- 今回の正月は1月中旬頃にお参りに行ったのだが、三が日後でも出店があり、賑わっていることを知った。出店はいつまで出ているのか。(鈴木さ委員)
- いつまでだろうか。主観だが、最近の傾向として、年始に土日が絡まないことが多いため、お参りの優先順位が低いと、違う用事を先に済ませ、その後にお参りへ行くという人も結構いるだろう。(井坂副委員長)
- 多くの人で賑わっており、観光協会のテントもあったかと思う。ああいうものを国体期間に出せるといい。賑わいがあると行ってみたいと思える。(鈴木さ委員)
- 人が結構来るという前提であれば店も出るだろうが、何もなければ出ないだろう。そこが難しいところだ。(井坂副委員長)
- 出店の出ている期間を延ばすのであれば、歴史について、プラタモリのようにぐるっと周るイベントを何回か実施するのはどうだろうか。(橋本補佐)
- 要員(担い手)が徐々に減ってきているということなので、これを機に、村民のボランティア等を養成する取組みも良いと思う。ふらっと行って頼めるという感じの詰所がないと、観光協会に電話して「いついつ何時」といったシステムを見直さないと…(近寄りがたい)。仮設でもいいので、そういったものがこの期間中だけでもあるといい。(鈴木さ委員)
- コキアの旬も国体の頃だろう。最大のターゲットは、コキアを見に来た人たちを持ってこることだ。最大瞬間風速を留めおくという、その戦略は変わらないのではないかと。(坪委員)
- 今、御朱印帳が流行していると思うが、期間限定で御朱印帳のスタンプを用意するような取組みを行うと、メディアも取り上げるだろう。(鈴木さ委員)
- 健康になるとか、合格するとかがあると、人情としてやりたくなってしまう。(坪委員)
- 御朱印帳と御札をその時だけ用意する取組みは、良いかもしれない。確か、虚空蔵堂で1200年際か何かで期間限定の取組みをやっていた。(井坂副委員長)
- そういった取組みを元旦や十三参り等の合間に実施し、年間で集客できると良い。(橋本補佐)
- 他の神社へ行くと、茅の輪くぐりの茅の輪があるが、大神宮にも虚空蔵堂にも、それがあまりない。大祓いや6月の祓いでも、茅の輪が飾られていない。あれがあるといい。(鈴木さ委員)
- 虚空蔵堂では年に1回だけだ。(井坂副委員長)
- もう少しその機会を増やしていただければいい。今年は平成の最後なので、平成末日まで掲げていても、おかしくないかもしれない。また、意外と敷地の地図もない。伊勢神宮へ行くと、外宮と内宮の地図がある。先日訪れたお宮は全く名前を掲げておらず、残念だと思った。(鈴木さ委員)

- **資料1-2**は村として実施できる取組みということなのか。(坏委員)
- ➔ そうではない。あくまで、頂いた意見をまとめただけだ。意見の追加や具現化にあたってどうすべきかということについて、深掘りした意見をさせていただきたい。(佐藤課長)
- 阿漕ヶ浦クラブ跡地の利用は私の提案だが、ここのポイントは国体期間中の臨時、仮設だ。あの辺が空いていると、せっかく人が集まるのにもったいない。(坏委員)
- ➔ 期間を限定した賃借でということであれば、選択肢としてはあると思う。(佐藤課長)
- ➔ 今、阿漕ヶ浦クラブの跡地は、バリケードのようなものを設置している。あれは景観としてはあまり良くない。先日、とうかい十二景の碑から機構側を見ると、空き地の手前が草藪になっていて、もったいないと思った。また、サッカー場の方は花火大会等で駐車場として使用しているので、そういう使い方はあるのかと思う。(藤田委員)
- ハード整備は最終の話だろう。ここに至るまでには、当然、交渉や買収といった手続きがあるだろうが、それでは時間がかかるので、仮設や臨時でやればいだろう。(坏委員)
- 無料配布は私が提案したものだ。売るだけでなく、無料のものがあってもいいと思った。(坏委員)
- ➔ 会場内にもブースが出る。そこでおもてなしコーナーというものがあり、地元の特産品等をふるまう例もある。(佐藤課長)
- ホッケー応援隊の創設については、当然やった方が良くと思う。ただ、どのようにやるかは検討が必要だ。(坏委員)
- ➔ 県ごとだと大変なので、ブロックごとだろう。地元とのコミュニケーションをとる機会を作る意味で、レセプション的なものがあるといい。(井坂副委員長)
- 最大のスポットへ必ず来る仕掛けと、魅力を点在させることに尽きるのだと思う。そのためには、晴嵐の碑(水戸八景)をPRすることと、石碑だけでは寂しいので、昔の写真を映像で見れるようにしたい。ハード面にはなるが、JAEAに配慮しつつ、やぐらで海まで見えるくらいの場所がないと、目的地にもなり得ない。それから、八間道路までを線で繋げるといい。(井坂副委員長)
- ➔ 松くい虫がひどいので、今年度伐採する予定がある。先ほど話にあった看板のようなものを設置して、昔の風景、歴史等を書いた案内があってもいい。晴嵐の碑入口に案内がない。(藤田委員)
- ➔ 国道245号沿いに石碑があるが、見ようとしないと分からない。(坏委員)
- ➔ 流れ着いた大きな板のレプリカを設置してはどうか。三つに割った霊巖木の一つから虚空蔵菩薩を彫り出したという伝説があるくらいだ。そのレプリカが晴嵐の碑あたりにあってもいだろう。可能であれば、そのときだけ御開帳することが出来ればいい。虚空蔵菩薩は50年に1回なので、なかなか難しい。(鈴木さ委員)
- ➔ 最低限、地図と案内板は必要だが、それを見せるために、レプリカややぐら等、何かアクションがないといけない。本設ではなく、仮設でもいだろう。道についても、4駆だけでも入れるといい。ピストンで行き、海を見せるような企画があれば行くだろう。ヤンサマチの再現で馬を走らせても面白い。何か、体験がないと行かないだろう。(坏委員)
- ➔ 国体期間中、虚空蔵堂で、早朝から座禅を組める等、色々あるだろう。(井坂副委員長)
- ➔ これまでの話からすると、ひとまずはPR(情報発信)が必要だ。簡単にできることとしては、看板とパンフレット、あとは道のちょっとした草刈り程度で入っていける状態を作るとというのが、最低限の景観整備ということだろう。(橋本補佐)
- ➔ ボランティアで草を刈る程度なら(可能ではないか)、あとはフェンスを取るだとか。(坏委員)
- ➔ フェンスは東海村の持ち物ではないので、難しいだろう。現在、村道認定されている所の景観整備等であれば、皆さんの協力で何かできるかもしれない。(橋本補佐)
- 晴嵐の碑の入口は、横断歩道を渡って少し歩かせる必要がある。例えば、虚空蔵堂の方までシャト

ルバスを定期的に動かし、試合がない人が見に行けると良いかもしれない。(藤田委員)

- ➔ まとめて、歩く道だけでもキレイにし、道順等の案内図を作れば、近づきやすくなる。虚空蔵堂にしても大神宮にしても、現状からどのように集客するかをきちんと考えていただかないと、初詣や十三参りしかなくなってしまう。あとは、イベント等を上手くPRしながら集客する。来てもらえれば、虚空蔵堂と大神宮の良さも分かると思う。できることに取り組んだ上で、次のステップとして、中・長期的な部分で整備等の話をしていければいいのかなと思う。(橋本補佐)
- ➔ 現状維持であまり変わらないような気がする。(井坂副委員長)
- ➔ 現状維持ではなく、景観整備等、自分たちで取り組めることもある。(橋本補佐)
- 28番のヴィクトリーロードの創設について、絆周辺の緑のラインのような、ウォーキングコースを造れないだろうか。名称を公募して皆を巻き込んで、必勝祈願のメニュー等をI~MOのまつりでふるまう等あった方がいい。食べ物があると行きたくなる。(鈴木さ委員)
- 大神宮と虚空蔵堂が一番の名所だと、皆が共通認識として持っているの、そこが何のパワースポットになっているのかをもっと発信してもいいのではないか。お参りして良かったという事例を募集すると良い。(鈴木さ委員)
- ➔ そういうものが、人の波が変わる要因となる。今、ひたちなか市から東海村に来ないのは、東海村に何があるのかを知らないのかもしれない。来た人にきちんとパンフレットを配り、案内等を行ってれば、今度は来た人たちがSNSにアップするかもしれない。ソフト面で貢献できる場所は多くある。また、他力本願では、いつまでたっても良くはならない。自分から発信していこうという考え方がないと難しい。(橋本補佐)
- 阿漕ヶ浦公園や虚空蔵堂に、観光協会の仮設ブースのようなものは作るのか。そういうところで物販をしたいときには、どうすればよいのか。(鈴木さ委員)
- ➔ それは今後の調整だ。阿漕ヶ浦公園であれば東海村が仕切るのが、開会式が行われる笠松運動公園は東海村が優先して確保するようなことは難しい。(佐藤課長)
- ➔ 今回のプレ国体時から、駅前やアイヴィル等の人が集まる場所にリーフレットを置かせてもらえるといい。村の発行物のみではなく、民間の店舗のリーフレットを置ける場所を用意してくれば賑わいも生まれるだろう。(鈴木さ委員)
- ➔ 観光協会の方でも、そういったことをやりたいと思っているので、どんどんご意見をいただきたい。(井坂副委員長)
- ➔ そこで周辺市町村のリーフレットも置けるようにすれば、相互交流も生まれるのではないか。そういったことをこの機会に行えば、活性化につながるのではないかと思う。(鈴木さ委員)
- ➔ それは地元の人にとっても良いと思う。意外と知らないことがある。(坏委員)
- ここの最大の魅力は、砂浜を走るだとか、そういう運動コースがあることなのだろう。もう少し海のメリットを出した方が良い。道路を(完全に)きれいに整備する必要はなく、4駆で行ければいい。体の不自由な人はバスに乗って行けばいい。そうするとイメージが違う。(坏委員)

Bグループ

※進行：高橋補佐

- 国体までに阿漕ヶ浦の入口の前までは4車線化することは決定しているのか。(川崎敏委員)
- ➔ そこへ向けて県は動いている。(横山係長)
- ➔ 4車線化を見込んで、海岸までの軸を作っている。今のままでは人を呼び込めないだろう。4車線化に伴い、晴嵐の碑の入口を整備する必要があるかと思う。今回、ハード整備を対象外と

しているが、それでいいのか。大神宮・虚空蔵堂へ人を呼び込むことを想定し、導線を考えているにも関わらず、4車線を前提にしないで（活性化を検討することは）無理ではないか。入口がないのに、奥にあるキレイな花を見に行こうとは思わないだろう。（川崎敏委員）

- 来た人がお弁当を食べる場所をつくれれば、大神宮や虚空蔵堂の方へ人を呼び込める。阿漕ヶ浦公園にあってもいいが、そこから足を伸ばしてほしい。村松晴嵐の碑の周辺の枯れ松を伐採すれば、広いスペースができる。あの場所で食べる人は結構いて、1月4日に行った際にも、数人食べている人がいた。「休めて」「お参りできて」を繋げることができれば、数千人来るうちの100人ぐらいは来てくれるのではないだろうか。そのためにも、安全に（国道245号を）渡ることが大切だ。（川亦委員）
- ➔ あとは、大神宮・虚空蔵堂等、村松周辺エリアのマップを作って、来場者へ配ることだ。八間道路以外にも、村松から新川を通して海まで行けて1周できる等、周遊コースがあるといい。看板も必要かもしれない。（川崎敏委員）
- ➔ 来た人に、「東海村は良いところだ」と思わせるためには、阿漕ヶ浦周辺の草を刈り、景観を整備する必要がある。また、村松晴嵐の碑周辺はお弁当を食べるのに最適だ。そのために、パンフレットを配布し、宣伝する必要がある。いきいきガイドの会のみなさんに協力してもらってもいい。（川崎道委員）
- ➔ 物販について、今、国道245号は土日等は混む。プレハブで村の特産品の物販を行い、合わせて仮設トイレを置く等して、休憩がてら寄れる所があるといい。JAEAに数百人の人がいるので、昼食時等に500円程度で何かを売ったらどうだろうか。建物を建てるのではなく、プレハブでできないか。寄る所があれば、その周りも気になる。阿漕ヶ浦公園の整備後のイメージ看板を立てれば、その後にも繋がる。（川亦委員）
- ➔ 村松周辺エリアに空家はないのか。センスのある人に期間限定でもいいので、アイスクリーム屋やカフェを開いてもらえないか。スタンプを集めた人やインスタグラムへ投稿してくれた人へのサービスがあってもいい。ポイントを繋げば、歩いてもらえる。（鈴木千委員）
- ➔ マップにスタンプを押して、QRコードで情報を読み取れるくらいのことはソフト面の取組みとして可能だろう。それに伴い、清潔なトイレも必要だ。無料で休めるところがあれば、人は結構来る。（川亦委員）
- ➔ そういう所にケータリングカー等の軽食があれば、買いたくなってしまう。（照沼主事）
- ➔ 水戸市の千波湖の「世界の朝ごはん」というイベントに物販で参加したが、まさにケータリングカー型のイベントで、たくさんの方が来た。（鈴木千委員）
- ➔ そのイベントはどこが主催しているかご存知か。（照沼主事）
- ➔ 主催者は知っているが、個人だ。水戸市のイベントは市から委託されて、センスのある個人の方がやることが多い。セツ洞でのイベントなど、一つの会場で村になっているようだ。また、ハロウィンの時には来場者がみんな仮装して楽しい雰囲気だった。センスの良い人を起用すると良いのではないだろうか。（鈴木千委員）
- ➔ ハロウィンに関連して、国体時、村内の団体に募集をかけて、仮装して応援すれば印象に残るのではないか。地域住民が参加でき、お金をかけずにできる。私もやったことがあるが、人物になりきれて、案外楽しいものだ。（川崎道委員）
- 松くい虫対策はハードになるのか。そこに取り組まないとソフト面を一生懸命考えてもだめな気がする。（川亦委員）
- ➔ あのままでは、松枯れがひどくて国体客を迎えられない。JAEAの土地ならば、松くい虫対策を行うように、村から働きかけないといけない。（川崎道委員）

- ➔ 最終的には、大規模なハード整備を行わないと、松枯れの対処はできないかと思う。ただ、そこに至るまでに例えば、定期的にクリーン作戦を行い、地域はこれだけ景観整備を求めていると示すことも可能かと思う。(照沼主事)
- ➔ 村松晴嵐の碑の辺りはJAEAの土地か。(川亦委員)
- ➔ 東屋まで全てJAEAの土地だ。(川崎敏委員)
- ➔ あの辺りまでだけでも地元の有志で(保全活動を)できないか。(川亦委員)
- ➔ 国道245号が拡幅されれば、少しは整備されるかと思う。ただ、村松晴嵐の碑の動線は…。(川崎敏)
- ➔ 道路の部分はある程度結果論なのだろう。「それができないと進めない」では、この委員会の意義も曖昧になってしまう。(安尾委員)
- ➔ 八間道路の左右の景観は全て茶色(松枯れ)だ。今のJAEAでは、「やって」と言っても、これをどうにかすることはできないだろう。(川崎敏委員)
- ➔ 「やって」と言うことを止めにしないといけないのではないだろうか。「やりますから」のような、これまでと異なる方法にしないといけない。前の委員会で藤田委員が言っていたように、「こういう提案があればやりやすい」ということがある。それを継続する工夫を、今と違うやり方で行う良い機会なのだろう。(安尾委員)
- ➔ 核燃料サイクル工学研究所は松枯れが少なく、なぜ旧原研側は松くい虫にやられているのか分からない。(川崎敏委員)
- ➔ そういった実態も分かっていないのではないのか。推定だが、JAEAとしては、把握する必要性が薄いのだろう。(安尾委員)
- ➔ J-PARCを造る地元説明会の際に、松を一旦外すが、現状へ戻す努力をしますと言っていた。本来は松に戻す必要がある。(川亦委員)
- ➔ 私が子どものころ、八間道路に立つと海が見えた。今は見えない。きれいな景観整備ができていない。もう一点、JAEAが予算がないのも分かる。ただ、東海村の(象徴でもある)松だ。そういう場所にJAEAができたのだから、松を残さなければいけないことを幹部が理解する必要がある。企業はまちと共存するものだという意識が民間よりも薄いのではないか。そういうことは、個人レベルの話ではなく、トップに話してもらいたい。村の団体でも中々核になる団体はないだろうから、やはり、村の上層部が解決しなければダメだ。(川崎道委員)
- ➔ それは、委員会の意見としてJAEAと話をする必要があるかと思う。国体の来訪者が村松周辺エリアへ来場する。八間道路沿いや国道245号沿いの景観整備はできていない。そこに取り組むためには、村長からJAEAに話さないといけない。(川崎敏委員)
- 村松周辺の軸の部分を通り直ぐ抜けられる道路があれば良い。キレイな花に行き着く動線を整備する必要がある。そこをパンフレット等で情報発信する必要がある。国道245号は土日に大渋滞するが、大神宮・虚空蔵堂は見えない花だ。それを分かっているながら、見せることができていないのが現実だ。それを整備し、動線を創り、駐車場の確保をすればいい。現状、村松晴嵐の碑の入口は99%分からない。(川崎敏委員)
- ➔ 手づくりでもいいので看板がほしい。(川亦委員)
- ➔ 国道245号沿いに水戸八景の看板は一枚もない。東海村は、これまで観光を売りにしてこなかった。(川崎敏委員)
- ➔ それをこれから変えていくのだろう。できる・できないはひとまずおいておいて、入口に看板レベルのものを造ることは、やる人がやればできるのだろう。それを整理し、ここに関わる人達が進めるしかない。(安尾委員)

- ➔ 他から来る人の話を聞くと、何でもいいから海が見たいと聞く。栃木県等の海なし県からすると、海を見たいようだ。(川亦委員)
- ➔ 虚空蔵堂は日本三体の一つだが、ここには海がある。海が売りの三体だ。(川崎道委員)
- ➔ おそらく、今のままでも地図等でスポットを示せば、整備しなくてもおのずと、人が集まるのではないだろうか。ただ、やはりキレイにする必要はあるので、松枯れ対策は最低限の整備は必要だ。(川亦委員)
- ➔ 国道 245 号沿いに水戸八景の看板は一つもない。「水戸八景」「大神宮」「虚空蔵堂」「海」の 4 つ程度をキーワードとし、解説でも書けばいい。仮設だとしても、村松晴嵐の碑の入口の地権者に土地を借りて使わせてもらい、看板を立てさせてもらう等必要ではないか。砂浜を整備する必要性はあるのかもしれない。革靴では砂浜を歩けないだろう。(川崎敏委員)
- ➔ そのために、サンダル・足ふき場を用意する等、発展するのだろう。(安尾委員)
- 商業者は国体期間中、何か仕掛けないのか。(小原委員長)
- ➔ ビジネスチャンスと考えていないだろう。自分達で何か考え・実行するというより、来るのをただ待っているのではないだろうか。(川崎敏委員)
- ➔ 仕事以外で来た人が東海村に泊まる機会はあまりないだろう。スポーツ選手は 1 人の空間がほしいので、民宿は嫌がりビジネスホテルを好むらしい。先ほど (A グループで) 聞いたところ、宿泊計画は県が一任しているとのことだ。一方で、何千人というニーズはある。(小原委員長)
- ➔ 国体期間中は (旅館やホテルが) 埋まるようだ。(川崎敏委員)
- ➔ ホテルへ入ったら中々外出しないので、10 時~15 時ごろのコアタイムが狙いだろう。(川亦委員)
- ➔ 関係者が飲みに行くかもしれない。そのときに、イモを使ったメニューを統一して出す等の仕掛けができないだろうか。(小原委員長)
- ➔ 村を PR するならば、虚空蔵堂の丑寅のゆるキャラを作った方が早いかもしれない。これは何だと興味を引き、由来を説明できる。丑の角を松にしてもいい。(川崎敏委員)
- ➔ 結局、(国体は) あくまで契機として、関係する人達がステップにできるようにするイメージしかない。例えば、今まで取り組んでいなかった、晴嵐の碑周辺整備等もこれを契機にできればいい。要は、理由付けた。(安尾委員)
- ➔ 最終的に、村が良いところだと少しでも伝わればいい。(小原委員長)
- ➔ ホッケー場を整備したので、ホッケー選手が合宿等でリピートしてもらえれば一番良いのだろう。そこから、どんなスポーツ選手も来やすくなるのが発展形のイメージだ。(安尾委員)
- ➔ 今でも、学生の合宿地として人気だ。何もないから余計に良いらしい。(川亦委員)
- ➔ 学生が来てはいるが、それを使ってこの活性化には繋がっていない。(安尾委員)
- ➔ 村松地区のイメージを上げるような取組みが限界かもしれない。(小原委員長)
- ➔ まずはそこだ。コンセプトにもあるように「行ってみたい」等の欲が出るかだ。惹きつけられる何かがあれば、それが活性化の最初のイメージだ。(安尾委員)
- 総務省ではデジタルサイネージというデジタル看板の取組みを進めている。国体期間、看板でホッケー色を強めてもいい。ホッケーファンを呼び込むことも考えられる。(小原委員長)

まとめ (委員長への報告)

(A グループ / 橋本補佐)

A グループからは、村松地区魅力を再発信するため、PR を推進しようという意見が出た。例えば、

虚空蔵堂であれば、敷地内や周辺の地図を作ることによりPRすることや、大神宮については、様々な場所にいる神様の地図を作って、参詣路等を示しPRしてはいかかというアイデアがあった。また、晴嵐の碑やとうかい十二景の地図があるといい。

商店等のPRについては、ブースがあれば帰るときに寄れる。また、看板や案内板を作り、そこにたどり着けるようなものが必要だろう。地道な考え方として、個々人が人任せではなく、自分たちがきちんと情報を発信して、気運を高めていく必要があるだろうということで、議論が終わった。

(Bグループ/高橋補佐)

Aグループと同様に、景観整備と情報発信についてご意見が多く出た。景観整備については、阿漕ヶ浦周辺はもちろん、松くい虫対策や、海を見せる工夫も必要だという意見があった。

情報発信については、来訪者に対して、何がどこにあるか示す看板等の設置、マップの配布が挙げられた。他にも、ボランティアガイドを活用し、来た方により深く知ってもらい取組みや、村松周辺エリアへ誘導する取組みも必要だ。アイデアとして、9月～10月はハロウィンが近いので、村民が仮装してお迎えしても面白い。2～3年後東海村ハロウィンパーティーにもなるかもしれない。また、イベントはセンスの良い方に協力してもらえば集客につながるのではないかとのご意見もいただいた。

- 様々なご意見をいただいた。本日は国体とテーマを絞ったが、ここで出た意見を村全体として準備をしている委員会へフィードバックしていただきたい。

ご意見にあった景観整備について、“リフレクション”とあって、水面に映った写真を撮ることが流行っているので、それに繋いでも面白い。また、「松は村の象徴だ」という意見が出た。是非、村長からJAEAに景観整備を依頼することを検討していただきたい。取組みを提案する等のアプローチをすると、様々なハード整備がここに繋がるのではないかと感じた。(小原委員長)

- ➔ 参考までに申し上げる。JAEAでは毎年薬剤散布や枯れ松伐採を行っているが、今年度はJ-PAARC全域と晴嵐の碑周辺の枯れ松の伐採予定がある。(藤田委員)
- ➔ 景観整備は地域が存在する限り進める必要があるが、喫緊で国体を目途に、人に見てもらえる整備を行う必要があるだろう。

看板の話もあったが、総務省が“デジタルサイネージ”とあって、デジタル看板を設置する取組みを全国的に進めている。デジタルであれば、ホッケー情報や村松地区に関する情報を時間帯により変えることもできる。

それから、地図に関して紙媒体に限らず、どう見せていくか検討が必要だ。

また、改めて村松の強みを考えなくてはならないが、国体は迫っている。村松の強みとホッケーを切口に、県レベルで仲間を増やしながら、村松を舞台に何かをやってもらうことを広域で考えた。すでにある資源をブランド化すること、なければ創っていくことも必要だ。おもてなしについては、県の取組みを村松で行ってもらえるような提案があるといい。国体はマンパワーの奪い合いだが、村松に関心を持ってもらうことと、活性化の次へ繋げる契機だ。いただいた意見を入れ込み、お返ししながらまた議論していきたい。(小原委員長)

(2) その他

- ・事務局より **東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定スケジュール**について説明(省略)
- 短期の取組みは示されているが、中長期の取組みが見えない。計画が先か、交渉事が先かはあがるが、交渉事等、誰が行うかも記載されていない。同時進行で取り組む部分もあるのではないかと。(井坂副委員長)

- ➔ こちらの資料は（あくまで）計画策定スケジュールなので、平成 30 年度までのスケジュールとなっている。そのため、短期の取組みまでしか示せていないが、中長期的な取組みについて、やる気がないわけでは決していない。（照沼主事）
- ➔ （井坂副委員長と）同意見だ。中長期に繋がるものとして短期的取組みがある。前回の委員会で、難しくても中長期を目指そうと確認した。（表に）中長期の線を引き、それに対するキャッチボールをしていくと良いのではないか。実現のためのキャッチボールと、遠い目標に対してどうするかが抜けている。（坪委員）
- ➔ 短期的な取組みについて、国体までに具体的に何をやって、どうするかは喫緊の課題でもあったので優先した（表に記載した）。中長期の部分について、当然、取り組まないわけではない。国体後についても、これまでにいただいた意見を整理し、提示する必要がある。今後、中長期も含めて計画案を作るつもりだ。中長期を省略するわけではない。（佐藤課長）
- ➔ 中間報告には、中長期にも取り組むことを記載していただきたい。（坪委員）
- 計画案だけではダメだ。そこに行き着くためにどうするかだ。行政に預け、努力したが何もできませんでしたとなるのではないか。（井坂副委員長）
- ➔ どの計画もそうだが、作ることはできても、大事なのはその先だ。計画をいかに実現するかの方がはるかに難しい。本計画も非常にスケール大きな計画だ。実現するための体制・予算は欠かせないだろう。計画でどこまで位置づけるのかも検討が必要だ（佐藤課長）。
- 中長期計画において実現できそうなところはないか。相手方や予算の問題があるのは分かるが、そうではなく、例えば、阿漕ヶ浦周辺の道路ができることがわかっているならば、それを中長期計画に青写真として書ける。そうすると、「〇年後に何ができる」と、国体時に看板を設置し、「〇年後にはここでトレーニングできる」といったイメージを持ってもらえる。できることを洗い出すために情報がほしいと思った。（鈴木さ委員）
- ➔ J A E A の土地活用等よりは、より、実現可能性があるレベルの話になるが、予算の関係もある。（佐藤課長）
- ➔ それも理解できる。例えば、今の時代にはクラウドファンディングもあるので、今回、国体で人を集まる機会を活用して、「これを買えば、こっちの資金に活用できる」といったグッズを作ることも不可能ではない。（鈴木さ委員）
- ➔ 中長期については、社会経済状況に合わせる必要もある。お三方の意見はお預かりし、事務局と検討したい。（小原委員長）
- 繰り返しになるが、より、具体的に 5 年後・10 年後が見える形にしたい。国体は P R のチャンスだ。ただ、計画策定にあたっては実現可能性に踏み込まないと、時間の無駄だ。村も誰が交渉事を行うかまで踏み込んでほしい。本委員会には様々な立場の方がいるので良いチャンスだ。他の団体もまとめて、うまく集約すれば良い方向に進むのではないか。（井坂副委員長）
- ➔ ご意見に付け加えたい。現時点で判断すると、関係者としてはできないものも多いだろう。それでは、村でできる範囲のものしかできなくなってしまうので、現時点での関係者や課題、お互い助け合うことや他のメリットも書き加えた方が長く頑張れるのではないか。できないことばかりではモチベーションも下がるし、創り出すことができなくなるのではないだろうか。（坪委員）
- ➔ 副委員長の意図としては、無駄ということではないだろう。中長期が全ての委員会でもない。短期ができなければ中長期はできないということもあるかと思う。（小原委員長）
- ➔ 本委員会は村松地区をどう活性化するかについて、様々な立場から意見を出し合い、計画を作る委員会だ。あまりに J A E A の土地を取得できるかどうかにか捉われてしまうと、計画に縛り

が出てしまう。純粹に、地域活性化にはどういう取組みが必要かをまとめた方がいいのではないだろうか。その上で、実現するためにどうしたらいいかの課題は出てくるが、一方で、できることから始めるという考えもあるだろう。(藤田委員)

- ・ 次回委員会：2月中旬頃 予定（事務局）
- ・ 4月から勝田駅前に県央・県北を繋ぐブースができる予定だ。県としては「できる限り、勝田駅の利用客を北へ動かしたい」という意向がある。いかに東海村へ誘導するか苦労しているところだ。ぜひ，“行ってみたい”という部分を本委員会から提案できればと思う。(小原委員長)

4 閉会（佐藤企画経営課長）

(以上)